

ヤマト特殊鋼株式会社

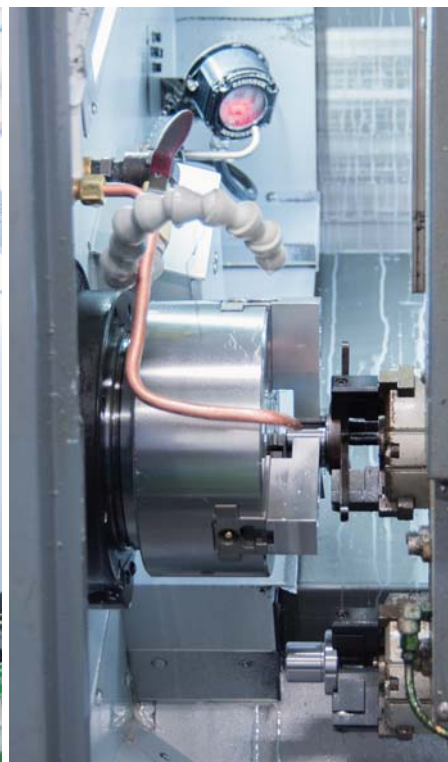
事業計画名

ガントリーローダ及び機内計測装置付CNC旋盤導入による
生産性向上及び高精度化の実現

卸業と加工業で材料の歩止まり100%、豊富な種類、量の材料を在庫
顧客は半径40km圏内で他社との差別化



材料の脱着から均一の部品製造まで自動化。



マシン内部。

事業の背景・目的

当社は、鋼材の卸業を営んでいるが、県内にも大手同業者が多数あり、大手に太刀打ちできない状況にある。そのため、大手が踏み込まないニッチな部分で、顧客にとって川上の事業、仕事を当社で受注し、付加価値を

高めていくことで受注量を増やしていく。顧客の競争相手である中国に対応するために、コスト削減が課題であり、そのために機械化を導入し対応していく。

企業データ

鋼材の卸業と加工業

鋼材/構造用炭素鋼、構造用合金鋼、軸受鋼、ステンレス鋼、ステンレス・アルミ粉末、工具鋼、耐熱鋼、快削鋼、ばね鋼、ミガキ棒鋼・線、冷間圧造用鋼線、各種帯鋼
部品/機械加工部品、転造スプライン、各種マグネット、一般焼結製品、熱間圧延製品、他



取締役山形営業所所長 伊藤 勇輔

代表者	藤原 久芳
住 所	天童市大字道満197-28
電 話	023-652-0811
FAX	023-652-0812
e-mail	ホームページお問合せより
URL	http://www.yamato-ss.co.jp
設立年	昭和22年2月
資本金	5,000万円
従業員	100名

事業内容

顧客の競争相手である中国の場合、ネックとなるのが人件費と需要の変動になる。それに対応するために、自動化できる設備を導入した。これまで人手によって機械に材料を投入し、加工が終わったら再び人手で取り出して、次の材料を取り付ける作業を行っていた。そのことで、機械ごとに人件費がかかっており、繁忙期に夜間作業の

時間が増せば、それだけ夜勤の人件費が加算されていた。

今回、導入したガントリーローダと機内計測装置付CNC旋盤は、自動で材料の脱着を行い、部品製造を行う。また、機内計測装置で品質の統一を自動で判断し、寸法補正をかけながら朝までの稼働が可能になった。

事業の成果

人件費削減と生産量が倍以上に増えたことで、コスト削減を実現。その分、顧客に対してもコストダウンの価格で提供可能になったため、これまで顧客が他社に発注していたものも取り込むことができる。

また、受注において、年間通してみると需要に波が生じる。繁忙期同様の交代勤務人員を常時確保しておいた場合、閑散期も夜勤体制にしたり、昼勤でも余剰が生じることがあった。それを機械化することで、需要と

のバランスで機械の稼働コントロールができ、無駄な人件費を確保する必要がない。結果的に顧客のメリットにつながることになる。

コストダウン、人件費の削減、安定した品質で数量の確保と目的は達成されているが、当初予定の設備導入だけで済むと思っていたが、付帯設備が必要になったり、まだ試行錯誤の部分もあり、今後の課題である。

今後の展望

今後の目的は、顧客の数を増やしていくこと。ただ、設備導入は同業者なり顧客が同じ設備を導入していくことで付加価値が生じなくなっていく。常に一步先を見据えて、設備以外の部分での差別化を図っていく。

当社の顧客は半径30から40km圏内がほとんどであるため、一日に何度も納品することもメリットである。また、材料から購入してもらい、そのまま加工が可能であるため、歩止まり100%で、もし失敗した場合でも当社がリスクを請け負うため、そこもメリットとして捉えてもらえる。



機内計測装置により人がついていなくとも自動で寸法補正し品質が保たれる。